

薬剤部だより No.242

山口大学病院薬剤部 2010.3.17



診療報酬改定(薬剤部関連)

平成22年4月から、薬剤部関連の診療報酬が以下のように変更されます。

平成22年4月1日から施行

項目	現行	改定後
薬剤管理指導料	なし	入院中の患者に対して薬学的管理指導を行った場合に、医薬品安全性情報等管理体制加算として、入院中1回に限り、初回の薬学的管理指導に係る算定の際に、所定点数に50点を加算する。
	薬剤管理指導料退院時服薬指導加算 50点	廃止
	後期高齢者退院時薬剤情報提供料 (後期高齢者が対象) 100点	退院時薬剤情報管理指導料に名称変更 (全年齢が対象) 90点
外来化学療法加算1	500点 (15歳未満:700点)	550点 (15歳未満:750点)
外来化学療法加算2	390点	420点
無菌製剤処理料	50点	イ 閉鎖式接続器具を使用した場合 100点 ロ イ以外の場合 50点

「薬剤部利用の手引き第5版」配布

薬剤部サービスを網羅した「薬剤部利用の手引き第5版」を現在配布中です。新採用者等に幅広くご活用下さい。

ウブレチド錠5mg 排尿困難に対する「用法及び用量」の変更

ウブレチド錠は適応症による「用法及び用量」の区別はなく、1日5~20mgでしたが、この度排尿困難への使用は1日5mgと改定されました。現在、排尿困難に対して1日5mgを超えて服用されている患者については、5mgへの減量を実施するとともに、他剤との併用や処方変更もご検討下さい。この理由として、2009年4月~2010年1月までに、コリン作動性クレーゼによる死亡例が3例報告されています。

なお、重症筋無力症への使用方法に変更はありません。

予定注射の搬送カート及び処方箋控えの変更

3月16日(火)から予定注射の搬送カート及び個人セット用ボックスが変更されました。これまで個人セット用ボックスは診療科毎に色分けされていましたが、新しいボックスは青色で統一されていますので、ご注意下さい。なお、ボックス前面に装着されている患者氏名用名札は再書き込みしますので、汚さないよう返却下さい。

また、処方箋の「正」と「控え」を区別するために、「控え」の処方箋をピンク色にしていましたが、ランニングコストを考慮し「正」と同じ青色に統一します。ただし「控え」の文字のみはピンク色とします。

可能な限り常備薬で対応を!

当院常備薬でない薬剤(緊急購入薬)の今年度2月までの購入金額が、1億9千万円に達しています。昨年度の2月まででは1億5千万円でしたので、すでに4千万円増加しています。今後、新規性の高い医薬品の購入に支障が出ることも懸念されますので、治療上やむを得ない場合を除き、可能な限り常備薬で対応して下さい。

3月31日(水)棚卸し

薬剤部だよりNo.241でもお知らせしましたが、3月31日(水)に棚卸しが実施されます。経営効率を高めるため、可能な限り常備薬在庫を使用して下さい。また、4月からの薬価引き下げを考慮し、3月末には在庫数を可能な限り「0」に近づけましょう。

製剤用水処理・洗浄・滅菌システム更新

薬剤部だより No.241でお知らせしましたように、院内製剤の調製に用いる製剤用水処理・洗浄・滅菌システムの設置工事が3月19日(金)~25日(木)にかけて行われます。この間、滅菌を要する院内製剤(心停止液、ワセリンガーゼ、エキザルベガーゼ、蒸留水等)は調製できませんので、3月19日(金)と23日(火)の請求は控えていただくようお願い致します。3月29日(月)払い出し分からは通常供給が可能となります。請求に関する問い合わせは製剤室(TEL.2666)まで。

外来待合室番号表示灯撤去

新たな番号表示灯は6月に完成予定です。

削除薬及び削除予定薬のお知らせ

- ・「クラビット錠100mg」の在庫がなくなったため、2/17でオーダ中止
- ・「リゾピスト注1.6mL」の在庫がなくなったため、3/8でオーダ中止
- ・ノイアップ注とシンビット静注用50mgの販売元が変更されるため、削除予定です